

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	平成27年度 嬉野市第2回食育推進会議		
開催日時	平成27年9月29日(火) 14:00～15:00		
開催場所	塩田保健センター2階会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	中村邦子委員、森サチ子委員、野口美帆子委員 古河タカ子委員、樋口徳子委員、三根由紀子委員 安藤佐織委員、一ノ瀬美和委員、栗山美紀委員 江頭早紀委員、梶原真奈美委員、友清雅子委員	
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長、健康づくり課副課長 健康づくり課主任、健康づくり課係員	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議レジメ ・ 弁当の日パンフレット2種類 ・ お知らせのチラシ2種類 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
審議経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 市民福祉部長挨拶</p> <p>3. 食育推進会議会長挨拶</p> <p>今年度は第2次嬉野市食育推進計画の中間評価を実施する。理想とする目標はあるが、評価をし、現実的な目標をたてていきたいと思う。</p> <p><会議の成立について></p> <p>嬉野市食育推進会議条例第6条2項 12人/14人で成立する。</p> <p>4. 協議事項</p>	<p>中村会長</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>

審議経過	<p>親のために説明することから始めていかないといけないのではないかと思います。「朝ごはんを<u>ちゃんと</u>食べさせてください。」よりも「ご飯とみそ汁だけでもいいので食べさせてください。」の方が納得する。具体的に説明するとよいのではないかと。</p> <p>(3) 第2次食育推進計画について 事務局</p> <p>1) 現状値と目標値について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網かけの部分は平成24年度の結果と比較して改善した項目。 ・「いただきます」「ごちそうさま」を必ず言う子どもが少なくなっている。 ・目標を達成している項目は、嬉野産の食材（お茶を含む）を給食に取り入れている保育園・幼稚園が100%、学校給食における嬉野産食材の使用割合が57.3%と改善した。 <p>2) 今後の取組みについて</p> <p>【梶原委員】「早寝・早起き・朝ごはん」の推進の他に学校で小5・中2を対象に食育の授業をしているが、該当学年に1日しかないのでは、もっと回数を増やすことで意識する機会も増えるのではないかと思います。具体的な方法を考えたい。</p> <p>【江頭委員】毎月、朝食を食べてきたか、何を食べてきたかというアンケートをとる。6年生ぐらいになると「卵焼きを作った。」という声も聞かれる。外部から支援に来てもらえると、もっと推進されると思う。</p> <p>【中村会長】例えば、1・15日は朝食摂取完全実施の日として、保護者に推進することはできないだろうか。反発が多いただろうか。反発がなく推進できるようなアイデアはないだろうか。</p> <p>【樋口委員】全体を見ていると母親教育のような気がする。保育園で朝ごはんをとるように言っても反発があるかもしれないので、乳幼児健診の時に保健師や栄養士から言ってもらいたいのかもしれない。</p> <p>【友清委員】たしかに母子健診は受診率が高いので、いいことだと思う。朝ごはんを食べるから健康になるというより、健康な人は朝ごはんを食べているということが言えると思う。</p> <p>【中村会長】とにかくバランスよりも朝ごはんを食べることが大切だと思う。平成29年の目標達成に向けてそれぞれの立場から今後も意見を出してほしい。</p> <p>(4) その他 事務局</p> <p>1) 佐賀県食育賞の推薦について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嬉野市では隔年で推薦している。 ・今年度はルンビニ保育園を推薦する予定。来年3月に結果が分かる。 <p>【中村会長】ルンビニ保育園の推薦理由を簡単に教えてほしい。</p> <p>⇒【事務局】嬉野市内の保育園・幼稚園はどこでも様々な取り組みを先駆けて実践されている。ルンビニ保育園においてはPDCAサイクルにのせた食育の実践が特徴。</p> <p>【中村会長】他に何か意見はありませんか。</p>
------	--

<p>審議経過</p>	<p>【三根委員】地産地消の具体的な取り組みとして、「毎日急須でうれしの茶運動」を推進していることをよく知らなかった。日本茶インストラクターの免許は持たなくてもお茶の生産者はお茶についての知識は豊富である。保育参観の時など子どもを介してその保護者にもお茶を通じた食育をすすめていきたい。そのような場を今後も提供してもらいたいと思う。</p> <p>【中村会長】アンケートの自由回答での意見に対してそれぞれ対応策などを検討し、市報などで公開してもらえたらいいと思う。次回の会議の際に再度提案してほしい。</p> <p>5. その他</p> <p>（1）嬉野市食育推進会議委員名簿</p> <p>6. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------------	--